

ヒートポンプ周年利用による促成栽培 ナスの収益性向上技術

背景

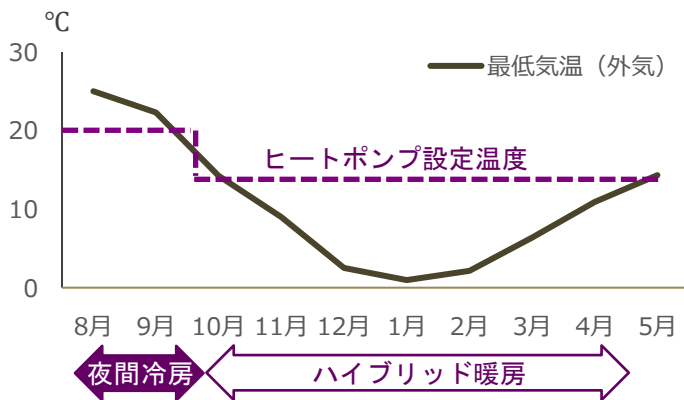
ナスの促成栽培では、9月の果実品質低下と低温期の暖房コスト増加が問題でした。

成果の内容

ヒートポンプを周年利用すると、9月の果実品質が向上するとともに、低温期の暖房コストを8%削減できます。

ヒートポンプ周年利用の方法

高温期(8~9月)は夜間冷房(20℃)
低温期(10~4月)はハイブリッド暖房(13℃)



○9月の果実品質向上

夜間冷房により つやなし果減少 → 商品果率 27%向上



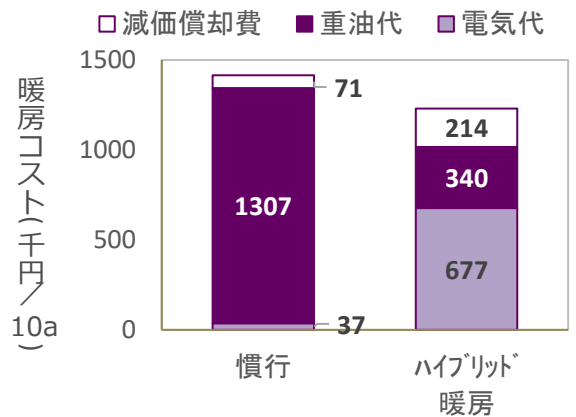
つやなし果



正常果

○暖房コスト8%削減

(年間収量は同等)



【研究チームのコメント】

○ハイブリッド暖房によりCO₂排出量を37%削減できる環境にもやさしい技術です。

○促成栽培ナスの収益性向上に貢献できれば幸いです。



(筑後分場 野菜チーム)